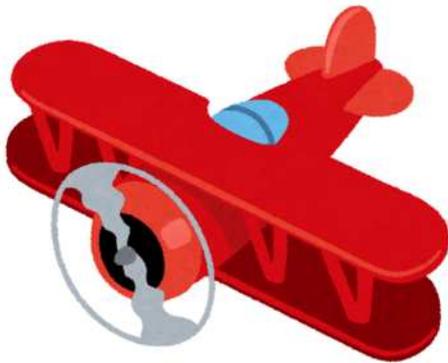


人は空を



飛べる？

人は自分の体だけでは空を飛ぶことはできませんが、様々な道具を使うことにより、空へ羽ばたいたり、大きくジャンプすることができます。今回は大空へ羽ばたいた飛行機やパラグライダー、スキージャンプなどに関する本を集めてみました。



★『飛行機物語 羽ばたき機からジェット旅客機まで』
鈴木真二／著 中央公論新社 2003年

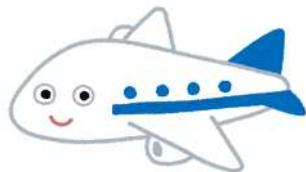
飛行機の技術がどのように発展していったのかを、歴史的経緯に沿って、エンジンやプロペラといった観点からまとめた一冊。

現在当たり前のように私たちは飛行機を利用していますが、この本を読むと、これまで様々なドラマがあったことを改めて理解できます。

★『もう飛行機はこわくない！ 飛行機嫌いを克服する本』
ミーヴ・バーン・クラングル／著 栗木さつき／訳

主婦の友社 2002年

飛行機が苦手な人におすすめの本です。心理学者である筆者が飛行機を怖がるメカニズムについて解説し、その克服方法について述べています。克服する上で、飛行機の歴史や仕組み、安全性といった必要な知識の説明もあります。この本を読んで、飛行機旅行を大いに楽しみましょう。



★『パラグライダー 風になる本』

入門からハイテクニックまで パラグライダーのすべて』
平田実・岡良樹・馬場俊之／共著 成美堂出版 1996年

パラグライダーをやっている人、興味がある人への解説本です。基礎からハイテクニック・競技といった実技的な説明だけでなく、パラグライダーの歴史や周辺グッズ・ファッションに至るまで、パラグライダーに関する様々なことに触れています。

また、一つ間違えば即死亡事故につながる危険もあることから、「安全」という視点を重視した構成となっており、地形や気象についての解説も載っています。



★『向かい風で飛べ！』

乾ルカ／著 中央公論新社 2013年

スキージャンプを通して、2人の少女の友情を描いた小説です。親子の葛藤や、周囲の人間模様も丁寧に描写されています。どうして小説のタイトルが「向かい風で飛べ！」となっているか、最後に回収されるほどと思える結末となっています。

編集・発行：さいたま市立与野図書館（令和4年10月）

さいたま市中央区下落合 5-11-11 TEL048-853-7816 FAX048-857-1946